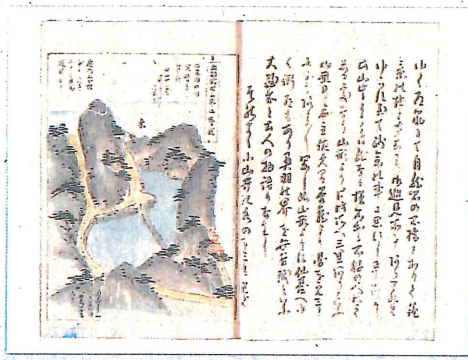


「東遊雑記」 HPで公開



弘大付属図書館のホームページで公開された「東遊雑記」の写本

弘大図書館が5例目

弘前大学付属図書館(郡千寿子館長)は12日から、江戸時代の紀行文「東遊雑記」の写本上・中・下巻のデジタルデータをホームページで公開している。同館の貴重史料のデジタル公開は5例目。

同館によると、「東遊

弘前
雑記」は、江戸中期の地理学者古川古松軒が、1788(天明8)年に幕府巡見使に随従し、東北から北海道を旅した記録。
同史料は、青森市の医師で、本県の文化財保護活動に尽力した故成田彦栄氏の遺族が2008年

弘大に寄贈、人文学部付属北日本考古学研究所が所蔵している。東北の記述を中心にした部分的な写本とみられ、保存状態も良好で、着色の美しい図も忠実に写されているという。

弘大研究推進部学術情報課の齋藤由紀係長は「史料は誰でも手軽に見られる。大学の貴重な史料を一般の人にも広く知ってもらいたい」と呼び掛けている。同館のホームページは<http://www.u.hirosaki-u.ac.jp/>。史料の紹介は「弘前大学学術情報リポソトリ」のホームページで公開している。

(佐藤彩乃)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先] 弘前大学研究推進部学術情報課
jm3152@hirosaki-u.ac.jp